

「旬」の植物紹介(4月編)

ヤマリソウ *Omphalodes japonica* ([ムラサキ科](#) [ルリソウ属](#))

3月に咲き誇っていたユキワリイチゲの隣で見つけた。



←ヤマリソウ
の花
(2022.4.10 岡山市北区)

ヤマリソウは本州福島県以南から九州に分布する多年生の草本。暖温帯中部から冷温帯近くまでの、落葉樹林の林縁や道端などの適度に湿った場所に生育するとある。岡山県では県南沿岸部では見たことがない。

名前の由来は、ヤマリソウとは、花色が瑠璃色であることから「ルリ」がつき、よく似たルリソウと区別するためにヤマがついたそう。山歩きで植林された林の中で見るヤマリソウは、まばらに花をつけて貧相だが、光がよく当たる道路端などにあるものは株が大きく花も見ごたえがある。

さりとて、光の制限を受けて山の中で細ぼそと咲いているの花のほうが似合っていると私は思う。

県北の那岐山あたりでは、雪解けを待って4月下旬頃に見かける。山道を歩きながら目線を下方に向けると出会えるかもしれない。

さて、ヤマリソウと対比されるルリソウ(*Omphalodes krameri* ムラサキ科 ルリソウ属)だが、生育地は本州中部地方以北、北海道に分布なので、岡山県では見ることはない。ヤマ……に比べると格段に美しいと思う。ぜひお目にかかりたいものである。浮気な花ごろをお許しいただきたい。



←ルリソウ花

([ルリソウ - 野山に自然に咲く花のページ \(hanasanpo.org\)](#)から転載

引用

岡山理科大学「植物雑学辞典」

野草の名前「春」山と溪谷社刊

Hiroken 花さんぽ